

高校公民プリント（過去問類似）

現代社会（旧課程の過去問） No.3

名前

得点

/10

問1 1970年代末からの改革・開放政策を経て急速な経済成長を遂げ、2001年に世界貿易機関（WTO）への加盟を果たした国はどこか。なお、この国が加盟した時点では、ロシアはまだ同機関に加盟していなかった。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 韓国 2. 台湾 3. 日本 4. 中国

問2 主権の概念は、近代国家の形成期に絶対王政を擁護する理論として整備された。著書『国家論』において、主権を「国家の絶対的かつ恒久的な権力」と位置づけ、君主が持つ統治権の絶対性を理論づけたフランスの思想家は誰か。（2011年 全国公立入試 類似）

1. トマス・ホッブズ 2. ロバート・フィルマー 3. ジョン・ロック 4. ジャン・ボダン

問3 近代国際社会の基本骨格である主権国家体制が形成される契機となった、1648年に締結されたヨーロッパの三十年戦争の講和条約は何か。この条約により、神聖ローマ帝国内の諸邦に主権が認められ、国家が互いに対等な主権者として並立する国際社会の原則が成立した。（2024年 全国公立入試 類似）

1. フランクフルト条約 2. ウェストファリア条約 3. ヴェルサイユ条約 4. ローザンヌ条約

問4 1950年代半ばから1970年代初頭にかけての高度経済成長期において、技術革新を背景に規模の利益が追求され、鉄鋼や石油化学などの重厚長大を特徴とする素材産業や装置産業が急速に発展した。このような産業構造の転換を何というか。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 高度経済成長 2. 産業構造転換 3. 設備投資競争 4. 重化学工業化

問5 かつて先進国と開発途上国の間で主に見られた、一方の国が一次産品や原材料を輸出し、他方の国が工業製品などの完成品を輸出するという、生産段階の異なる国々の間で行われる国際分業の形態を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 社会的分業 2. 技術的分業 3. 垂直的分業 4. 水平的分業

問6 金融市場は、取引期間が1年未満の短期金融市場と、1年以上の長期金融市場に大別される。このうち、銀行などの金融機関のみが参加し、日々の極めて短期的な資金の過不足を相互に融通し合う代表的な市場を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. コール市場 2. CD市場 3. 現先市場 4. 手形市場

問7 国連海洋法条約に基づき、沿岸国が領海の外側に設定できる水域で、基線から最大200海里までの範囲において、漁業資源や海底鉱物資源などの天然資源の探査・開発・保存・管理を行うための排他的な管轄権が認められているものを何というか。なお、この水域では他国の航行や上空飛行の自由は原則として認められている。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 排他的経済水域 2. 領海 3. 公海 4. 接続水域

問8 職業生活を中核としながらも、生涯にわたって築かれる個人の経歴や経験の連鎖のこと。これには仕事だけでなく、余暇や家庭生活などの私生活における活動も含まれる、この概念を何というか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. ビジョン 2. スキル 3. キャリア 4. ワーク

問9 青年期において、他者との関係を意識しながら自己の内面を深く見つめ直し、自分はどのような存在であり、社会の中でどのような役割を果たすべきかという一貫した自己の認識を確立することが求められる。アメリカの心理学者が提唱した、この「自分は自分である」という確信や自己の存在証明を指す概念を何というか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. モラトリアム（心理的猶予） 2. アパシー（無気力状態） 3. アイデンティティ（自己同一性） 4. マージナルマン（境界人）

問10 国家の権力を、議会が担う最高権力としての立法権と、君主や政府が担う執行権（同盟権を含む）の二つに分離し、後者は前者に従属すべきであると主張して、近代の民主政治における権力分立論の基礎を築いたイギリスの思想家は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. ロック 2. スピノザ 3. ルソー 4. ホッブズ